

日本語独学経験者が教室学習に求めているものとは
What are self-taught students looking for in classroom learning?

安達いづみ, サスカチュワン大学
Izumi Adachi, University of Saskatchewan

1. 調査の背景と目的

1.1 調査の背景

この調査は、2017年に行った「日本語学習者の独学と教室学習に関する調査」の第2弾である。第1回目の調査は、2014年9月から2017年4月までに本学で日本語を履修した学生を対象に、独学に関するアンケートを実施した。

本学の日本語講座は2014年に始まり、毎年200名近い履修者がいる。オンラインツールやeラーニングなど、日本語教育を取り巻く環境は大きく変化しており、学習者は教室という枠に縛られずに日本語を学ぶことが可能になった。こうした状況にもかかわらず、教室に足を運ぶ学生達は、なぜ教室環境で学びたいのか、教室に何を求めているのかを明らかにしたいと考え、本調査を行った。

1.2 調査の目的

本調査は、学生の独学に関する実態を調べ、教師や教室の役割を考えることである。このことを明らかにするために、以下のリサーチクエスチョンを設定する。

- ① 独学で日本語を学んだことのある学生は、なぜ教室で日本語を学ぶことを選んだのか。教室に何を求めているのか。
- ② 2017年の調査と比べて、本学の学生の独学の実態に変化はあったか。
- ③ 教室学習は学生の独学に何か影響を与えているか。

2. 調査方法

2017年5月から2018年12月までに日本語を履修した学生293名を対象に、SurveyMonkeyを使ってアンケート調査を行った。調査期間は2018年5月から3月である。

3. 調査結果

アンケートの回答率は293名中69名(23.5%)であった。以下、質問項目と回答結果を記述する。(質問項目3以降は、大学で履修する前に独学した学生の回答のみを記述。)

1) あなたは独学で日本語を学んだことがありますか。

a. はい、大学で日本語を履修する前に独学をしたことがある。	44.9%	31名
b. はい、大学で履修中、授業以外の教材で学習したことがある。	15.9%	11名
c. はい、日本語講座終了後に学習したことがある。	7.3%	5名
d. いいえ。	31.9%	22名

2) 「いいえ」と答えた人：独学が難しい、あるいはできない理由は何ですか。

わからない項目、難しい項目について聞ける人がいない。	6
何をどこからどうやって始めていいのかわからない。	5
モチベーションを維持する力、自分をコントロールする力がない。	3
他にすることがあって、時間がない。	2
自分が正しく学習しているのか自信がない(発音など)。	2
日本語を知っている、または話せる知り合いがいない。 (アプリで知らない人と話すのは恥ずかしい。)	1

以下、「大学で日本語を履修する前に学習した」と答えた学生の回答

3) いつ、どのくらいの期間、独学をしましたか。

<独学した時期>

履修する1年前	4	5年前	2
2年前	3	10年前	1
4年前	3	半年前	1
6年前	3	3か月前	1
3年前	2	その他(高校、小学校の時)	2

<独学した期間>

1年	5	2年	1	2か月	1
1週間	3	4年	1	3か月	1
3年	2	5年	1	半年	1
3か月	2	10年	1	3週間	1

4) どうやって独学をしましたか。

オンライン教材、アプリ 44名

Wanikani, Duolingo, Rosetta Stone, Jisho.org, Hello Talk, Anki, Kana kanji learning app, Tae Kim's guide など

生教材 21名

日本のアニメ、ドラマ、映画、音楽、歌、新聞記事など

書籍、紙媒体の教材 9名

辞書、GENKI テキスト、GENKI ワークブック、日本語総まとめ N3、Basic Japanese and complete Japanese Grammar (McGraw Hill Education level) など

日本のゲーム 2名

SNS 2名

Facebook、Line など

その他	2名
友達に助けてもらった、日本語を使うアルバイトをした	

5) 独学で何を学びましたか。

読み

簡単な語彙	8	簡単な文	5
ひらがな	6	動詞	1
漢字	6	挨拶	1
カタカナ	5	何も学んでいない。	3

書き

ひらがな	8	好きな物、嫌いな物	1
簡単な語彙	6	動詞を使った文	1
カタカナ	5	形容詞を使った文	1
漢字	5	挨拶	1
自己紹介	1	何も学んでいない	3

話す

挨拶	14	レストランでの注文	1
自分について	8	買い物	1
家族について	4	疑問文	1
簡単な単語	2	何も学んでいない	4
好きなこと、嫌いなこと	2		

理解

簡単な単語	13	自己紹介	1
アニメ、映画、ドラマの簡単な会話	8	何が起きているか推測する	1
挨拶	5	ひらがな	1
決まり文句	2	何も学んでいない	1

その他

1から100まで数えられる	2	日本語の歌が歌える	1
簡単な日本語での会話	1	ビジネスマナー	1

6) 独学の大変な点は何ですか。どのように克服しましたか。

難しい点	克服方法
継続的に勉強すること モチベーションを維持すること 7名	- 1日1時間と決めて勉強するようにした。 - 継続して勉強する習慣をつけた。 - 休憩を入れたり、継続できる工夫をした。 - 克服していない。
文字(ひらがな、カタカナ、漢字) 6	- 毎日勉強した。 - 何度も書いて覚えた。 - フラッシュカードを使った。 - 歌の歌詞を何度も書いた。

文法の理解	4	- 説明してくれる人を探した。 - 本を買った。 - 克服していない。
会話やスピーチをすること	3	- 日本語の授業を取った。
語彙の理解	3	- 毎日勉強した。 - 黙々と勉強して自分のレベルを上げた。
読み書きの理解	2	- 日本語の授業を取った。
教えてくれる人がいない。自分の日本語が正しいのかわからない。	2	- 友達に頼んだ。 - 翻訳ツールを使って自分でルールを探した。 - Hello Talk などを使ってネイティブスピーカーに助けてもらった。
どこから始めていいのかわからない。	1	- 結局独学を辞めてしまった。
書き方のルールを理解すること。	1	N/A
日本語を話す人が周りにいない中で日本語を学ぶこと。	1	N/A

7) 教室に来る理由は何ですか。教室環境で日本語を学ぶことは、どんなことを提供してくれますか。

教師からの説明がある。わからないところを教師やクラスメートに教えてもらえる。	11	学んだことを授業で強化できる。	1
宿題、締切、単位などがあるのでモチベーションに繋がる。	8	聞く練習ができる。	1
体系的に整理して学ぶことができる。	7	フィードバックがもらえる。	1
教材がある。	4	独習するための基礎が学べる。	1
発音が学べる。	3	授業に出ると集中できる。	1
仲間意識、コミュニティーができる。	3	日本語を好きにさせてくれる。	1
話す練習ができる。	2		

8) 独学と教室学習はどのように共存しますか。

教室がいい		独学がいい	
文法	12名	ひらがな、カタカナ	7
会話。会話しながら文法や語彙力が強化される。	12	語彙。独習の後に授業に出るといい。	7
リスニング	6	漢字	6
文の構造	3	ライティング	4
発音。ネイティブスピーカーの発音が生で聞ける。	3	リスニング	3
語彙	2	リーディング	2
教師やクラスメートによるフィードバック	2	文法の復習、整理	2
漢字	1	挨拶など、基礎的なこと	2

人前で日本語を話すことが怖くなくなる。 1	スピーキング	1
家で勉強したことの確認 1	意味の推測	1
相手によって丁寧に話すことを学べる。 1	知識を深めること	1
基礎的なこと以外、全て授業がいい。 1		
総合的な語学力が身につく。 1		
学習の方向性がわかる。 1		

その他		
漢字と語彙は独学と授業の両方がいい。		
授業は大人数なので、一對一の学習ができない。		
進度が速く、内容が濃すぎてついていくのが大変。家で復習しないといけないことが多く、ある意味、独習のようだった。(春期集中講座)		

5. 考察とまとめ

5.1 リサーチクエストの答え

- ① 独学で日本語を学んだことのある学生は、なぜ教室で日本語を学ぶことを選んだのか。教室に何を求めているのか。

学生が教室に来る理由で一番多い答えは、「教師からの説明がある」「わからないところを教師やクラスメートに教えてもらえる」であった。学生は文法や発音は教師から学びたいと考えている。また教師やクラスメートがいる教室に来ることで、わからないところをすぐに教えてもらえ、孤独感を味わわずに済んでいる。

二番目に多かった理由は「モチベーションの維持」であった。本学には日本語専攻がなく、本講座は選択科目であるため、学生は皆、自分の専門の勉強が忙しく、学年が上がるにつれてその傾向は強くなる。そのため全くの独学で日本語を学ぶ時間を作ることは難しい。宿題などの締切があり、単位になる大学の授業を履修することは、一つの動機づけになっている。

次に多かった答えは「体系的に学べる」であった。独学経験者に「日本語を学んだことがあるか」と尋ねると、「独学したことはあるが、学校でちゃんと学んだわけではない」と、自信がなさそうに答える学生が多い。教師について学んでいないという理由で自分の知識が正しいのか、自分のレベルがどのくらいなのか不安な学生が多く、教室で知識を整理することで自信をつけていく姿が多く見られる。

一番目と関連する回答として「仲間意識、コミュニティーができる」という回答もあった。本学はサスカチュワン州出身の学生が多いが、サスカトゥーンも含め、カナダの中でも日本人人口の少ない地域である。普段、生の日本語に触れる機会がほとんどないが、教室に来ることで同じ興味を持った仲間と出会い、そこで連帯感が生まれていくようである。

② 2017年の調査と比べて、本学の学生の独学の実態に変化はあったか。

今回の調査では、独学をしたことがあると答えた学生は全体で68.1%で、2017年の調査と比べて22.9%増加した。大学で授業を履修する前に独学をしたことがあると答えた学生は全体の44.9%で、前回の調査より9.4%増加した。大学の授業を履修中に独学したと答えた学生は前回の9.7%から15.9%と6.2%増加した。更に日本語講座終了後に独学をしたことがあると答えた学生が7.3%いた。

③ 教室学習は学生の独学に何か影響を与えているか。

前回の調査と比べて独学者数が増えているが、この要因は今回の調査だけでは、はっきりしたことはわからない。しかし前回の調査対象となった学習者は、本学でまだ日本語講座が開講されていない時期に、独学をした学生が多く含まれていた。今回の調査対象者は、独学時期が1-6年前と答えた学習者が多かったことから、大学で日本語を履修することを前提に独学をしていた可能性が考えられる。独学の目標が、大学で日本語の授業を履修するためだったかもしれないということである。その後、実際に教室で学び始めた学習者には、独学ではわからなかったことや困難を感じていたことを解決していく者もいる。

5.2 まとめ

本学は日本語専攻がなく、日本語のクラスは全て選択科目である。学生達は普段、自分の専攻科目の勉強で忙しく、それ以外の時間を見つけることは難しい。また本学が置かれているサスカトゥーン市は、日本人人口が少なく、普段日本語を使ったり、日本文化に直接触れたりする機会はほとんどない。日本や日本文化に興味のある学生は非常に多いが、こうした環境で敢えて独学で日本語を学ぶには、余程の強い動機が必要となる。こうした状況の中、大学での日本語講座は学生にとって大きな動機づけとなる。

本学で日本語講座が開講した2014年からの5年間、教室は学生の日本語学習を促進する役割を果たしてきた。教師は独学と教室学習のそれぞれの役割を理解しながら、学生が教室に頼り切るのではなく、教室を利用しながら自分の学習方法を見つけていくような支援や授業作りをしていくことが、今後ますます必要になってくるだろう。

参考文献

- クラスナイいづみ (2017) 「日本語学習者の独学と教室学習に関する調査」
『2017 CAJLE Annual Conference Proceedings』123-130 カナダ日本語教育振
興会